



大地申 第2号

「新型車両投入に伴うワンマン運転の実施について」 に関する説明申し入れ

JR東労組大宮地本は、6月8日大宮支社より「新型車両投入に伴うワンマン運転の実施について」の提案を受け、関係する職場の声を集約してきました。今施策では、人口減少や技術革新等の社会環境の急速な変化に対応しながら、お客さまが求める輸送サービスの提供が目指されます。安全・安定輸送の確保と、地域の皆さまに信頼される公共交通機関としての責務を果たさなければなりません。提案時に計画概要、車両計画、スケジュールが示されましたが不明な点が多く、組合員・社員の不安解消に向けて今後の計画を明らかにしていかななくてはなりません。施策実施については年度末を予定されていますが、そこまでに教育訓練を十分に行う必要があります、予想される課題の解消に向けた議論が必要です。さらに、千葉支社において今回投入されるE131系の運用が開始されましたが、ご利用されるお客さまの乗降数と車両運用がマッチせず、予定していない併合作業が発生するなどの課題を教訓としなくてはなりません。

実務を担う職場の思いを受け止め、不安の解消と安全・安定輸送、働きがいのあるワンマン運転とするため、職場の声をもとに団体交渉で議論していきます！！

申し入れ項目

1. 今施策における目的と想定されるメリット、デメリットを明らかにすること。
2. ワンマン運転を実施する区間を宇都宮線(小山～黒磯)とした根拠を明らかにすること。
3. ワンマン運転に必要な設備の整備について明らかにすること。
4. 新車投入開始日および教育訓練のスケジュールを明らかにすること。
5. 通勤、通学時間帯における混雑防止に向けた
車両運用や列車設定について明らかにすること。
6. ワンマン運転導入に伴う、宇都宮車掌区の
要員も含めた業務体制について明らかにすること。

**安全な鉄道運行を実現するために
交渉を通じて不安・疑問解消をめざします！**

